

# 技能評価システム移転促進事業(SESPP)

## 事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	稲川 文雄 (SESPP 事務局 技術顧問)
実施期間	2019 年 12 月 18 日 (水) ~ 2019 年 12 月 20 日 (金)
実施場所	ベトナム社会主義共和国・ハノイ市 ハノイ工業大学 (HaUI)
研 修	技能評価トライアル (SET)・技能評価者認定 (SAC)
実施職種	機械検査 3 級

2019 年 12 月

## 結果概要

1. 対象者数：SET 評価者数 7名 / 評価者認定合格者 4名  
受検者数 20名 / 合格者 7名

### 2. 日程

日時	指導内容
12月18日(水) 8:30~16:00	【技能評価者トライアル (SET) / 技能評価者認定 (SAC) 1日目：準備】 ① 評価者認定に関する説明 ② 書類の書き方に関する説明 ③ 評価者チェックシートの説明 ④ 参加者による自己評価 ⑤ 評価チームの編成と役割分担 ⑥ 実技試験タイムテーブル作成 ⑦ 試験用機材のチェック ⑧ 試験会場設営・機材の配列
12月19日(木) 8:00~17:00	【技能評価者トライアル (SET) / 技能評価者認定 (SAC) 2日目：試験1日目】 技能評価トライアル 開会式・試験実施 8:00 受付 8:20~8:40 開会式 9:00~10:00 学科試験 10:30~12:00 実技試験 (受検者：4人) 13:00~16:00 実技試験 (受検者：8人) 16:00~17:00 正解値測定
12月20日(金) 8:30~17:30	【技能評価者トライアル (SET) / 技能評価者認定 (SAC) 3日目：試験2日目】 8:30 受付 9:00~10:00 実技試験 (受検者：8人) 13:00~14:30 正解地測定、減点評価シート作成 14:30~16:30 採点・評価・総括 16:30 評価者チェックシートに基づくヒアリング

### 3. 講評

今回の技能評価トライアル・評価者認定で、4名の認定評価者が誕生する。

これで、ハノイ地域において7名の認定評価者となり、彼等を中心にして評価者チームを構築して、ハノイ地域で技能評価トライアルを実施できる体制が整ったと言える。

機械検査職種の技能検定は、ハノイ地域の日系企業においてニーズが高く、すぐに応募定員を超えるとのことである。そのため、Assessment Center (HaUI) では、企業ごとに応募者数を割り振って募集し、企業の不満が高まらないように工夫しているとのことである。当該職種が国家検定化されれば、このような状況は解消され、受験者が多く見積もれる職となりうるものと思慮される。そのためには、DVETに国家検定化に向けて取り組むことを強く要望し、そのための支援策を講じる必要があるといえる。

## 4. 受講者へのアンケート結果

### ◆評価者 7 名（回答者 7 名）

満足度： 大変満足=6 名 満足=1 名  
役立ち度： 大変役立つ=7 名  
評価能力の向上度： 大変向上した=6 名 向上した=1 名  
継続性： 是非継続すべき=6 名 継続すべき=1 名

#### 【改善点・提案・意見・感想】

- ・ ベトナムにおける国家技能検定についての広報を日本側にもサポートしてほしい。
- ・ HaUI だけでなく、HIVC でも機械検査のトライアルを実施してほしい。
- ・ 作業 1 の測定製品（被測定物）の精度を向上させるべきである。
- ・ 改善のための技能評価トライアルを継続してほしい。
- ・ 経験を共有するために複数の訓練校にて普及できるようにトライアルを実施してほしい。

### ◆受検者 20 名（回答者 18 名）

満足度： 大変満足=16 名 満足=1 名 どちらともいえない=1 名  
役立ち度： 大変役立つ=16 名 役立つ=2 名  
継続性： 是非継続すべき=18 名

#### 【改善点・提案・意見・感想】

- ・ 学科試験と実技試験の両方の指導をしてほしい。
- ・ 測定技能向上のために、ハイトゲージによる測定作業を追加してほしい。
- ・ 鋳鉄製定盤をセラミックス製に替えてほしい。（2 人）
- ・ 引き続き、技能評価トライアルの継続を希望する。
- ・ 他の職種についても研修に参加したい。
- ・ 三針によるネジ測定は難しい作業であり、この方法を自分の学校と先生方に共有したい。

#### 【実施希望職種】

- ・ 機械加工職種（旋盤、フライス盤）（2 人）
- ・ CNC フライス盤、放電加工職種
- ・ 機械検査 2 級